



左から猶原宏海さん、秦陽乃さん、福元晶三市長、一坪さくらさん、池部黄那さん＝宍粟市役所

全国へ「自己ベストねらう」

千種高生4人、宍粟市長を訪問

宍粟市千種町の県立千種高校から全国大会に出場するライフル射撃部の2人、パソコン部の2人の生徒が、宍粟市役所を訪れ、福元晶三市長に「がんばって楽しんでください」と激励された。

千種高校は今年度の生徒数が110人余りだが、両部をはじめゴルフ部、スキー部、ボランティア部などユニークな部活動に取り組んでいる。

8月に広島で開かれる「第59回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会」に出場するのは、5月にあった県高校総体で優勝したライフル射撃部の秦陽乃さん(3年)と4位入賞した猶原宏海さん(2年)。射撃練習は学校でしかできず、補習などの間を縫って1、2時間の練習に集中して腕を磨く。秦さんは2回連続の全国大会出場で、前回果たせな

った「入賞を目指します」。猶原さんも「自己ベストの成績をねらいたい」と意気込んだ。

パソコン部から、8月に名古屋市で開催される第35回全国パソコン技能競技大会に出場するのは一坪さくらさん(3年)と池部黄那さん(3年)。2人それぞれ日本情報処理検定協会のパソコンスピード認定試験(日本語)の1級に合格したため、出場が決まった。

競技では決まった時間に日本語を入力する文字数を競う。10分間で池部さんは1042文字、一坪さんは1052文字がベスト記録。2歳上の兄も同高から全国出場したという池部さんは「落ち着いて競技に臨みたい」と話し、一坪さんも「落ち着いて練習通りにできれば」と健闘を誓った。

(伊藤周)

ライフル射撃部

パソコン部